



23 橋本雅邦

《夏冬山水図》 対幅

明治二十九年（一八九六）

絹本墨画淡彩

本紙各一三〇・二×八四・四

夏景には中央に高い山岳を配し、仰ぎ見るような構図で
 壮大な夏山を、冬景には左側に山を層状に配す俯瞰的な構
 図で、静かな冬の山間を表現している。両景とも後景ほど
 墨の色を淡くし、遠近感を表現しているが、「春秋山水図」
 （作品番号24）と比較すると、いまだ狩野派の筆法を強く残
 している。そのため、柔らかな印象の「春秋山水図」
 と比べて力強い印象を受ける。伝統的な構図に、新しい遠
 近表現を取り入れ、品格ある作品に仕上げた秀作である。

なお、改めて本作の履歴を確認したところ、明治二十九
 年（一八九六）宮内省の依頼により制作されたことが判明
 した。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

皇室技芸員と一九〇〇年パリ万国博覧会

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 47

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十年七月十九日発行

© 2008 The Museum of the Imperial Collections